

窓やベランダからの子どもの転落事故に御注意ください！

— 網戸に補助錠を付ける、 ベランダに台になる物を置かないなどの対策を —

子どもが住居などの窓やベランダから転落し死亡する事故が多く発生しています。

- ・ 窓を開けたり、ベランダに出る機会が増えたりする夏頃から転落事故が増加
- ・ 子どもの中でも3～4歳の転落事故が最も多い
- ・ 2階からの転落でも入院が必要な中等症と診断されている事例が多い
- ・ 窓が開いた部屋で子どもだけで遊んでいて発生する事例が多い

住居などの窓やベランダから子どもが転落する事故を防止するためのポイント

【窓やベランダ周辺的环境づくり】

- ①窓やベランダの手すり付近に足場になるようなものを置かないようにしましょう。
特に、エアコンの室外機の置き場所は工夫しましょう。
- ②窓、網戸、ベランダの手すり等に劣化がないかを定期的に点検しましょう。
- ③窓を閉めていても、子どもが勝手に窓を開けないよう、窓や網戸には、子どもの手の届かない位置に補助錠を付けましょう。換気をする際も同様です。

【子どもの見守り・子どもの教育】

- ①子どもだけを家に残して外出しないようにしましょう。
- ②窓を開けた部屋やベランダでは子どもだけで遊ばせないようにしましょう。
- ③窓枠や出窓に座って遊んだり、窓や網戸に寄りかかせないようにしましょう。

子どもから一瞬たりとも目を離さないことはできず、限界があります。
子どもの見守りと合わせて転落事故が起こらない環境づくりを行いましょう！